



高口やすひこ通信



—KOMEITO—
公明党

立川市議会議員 高口靖彦
電話・FAX 534-0267 柏町在住
E-mail: takaguchi@komei-tachikawa.com
<http://www.komei-tachikawa.com/takaguchi>
フェイスブック yasuhiko.takaguchi



輝かしき2017年の新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の参院選におきましては、皆様からの絶大なるご支援のお陰で、過去最高の14議席を勝ち取らせて頂くことができました。心から感謝申し上げます。

本年夏には、首都東京の都議会議員選挙が行われます。2020年以降を見据えた新しい東京大改革に向け、公明党の完全勝利を目指し、全力で頑張っております。

私自身にとりましても、3期目の後半に入りました。愛する立川で、何を残していくことができるのかを、常に問い続けながら精進していく所存です。今年も、皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

高口 靖彦



【平成28年第4回市議会定例会報告】

平成28年第4回定例会が11月30日から12月19日までの会期で開催されました。

今定例会では、立川市多文化共生都市宣言、平成28年度立川市一般会計補正予算などの議案が上程され、慎重審査した結果、全て原案通り可決しました。

また、私が委員長を務める厚生産業委員会を12月12日に開き、学童保育所の待機児童対策について、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料の還付及び還付加算金の取扱いについて等、15件の報告を受けました。

私は12月2日の本会議の一般質問で、
①超高齢社会を安心して暮らしていくために ②障がいのある人もない人も暮らしやすいまちを目指して ③子ども達の国際交流の後押しについて、市長の考えと今後の取組みをただしました。

私の一般質問の主な質問内容



★超高齢社会を安心して暮らしていくために

- ◆主張 激動社会を生き抜かれてきた高齢者の方々が、自身の最後を心配されることの無いよう、市営斎場の利用のあり方を見直し、再編計画を進める公共施設の利用も可能となるよう取り組むべき
- ◆主張 現在は少子化などのため、樹木葬、樹林葬といった自然葬が普及してきている。東京都の既設公営墓地等の不足を鑑み、大町市及び大町市民の方々の十分なご理解の上、姉妹市大町市に市の公営樹木葬墓地の創設を検討すべき
- ◆主張 今の国民健康保険制度では、高額療養費の還付金等の償還払いを受ける際、その都度の手続きが必要である。後期高齢者医療制度のように、自動振り込みの簡素化を国に働きかけるべき

★障がいのある人もない人も暮らしやすいまちを目指して

- ◆主張 昨年2度目の開催となった『アール・ブリュット立川』が好評を博している。この実績を活かし、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、立川版アート・パラリンピックの開催を実施すべき
- ◆主張 市内の放置禁止区域外で点字ブロック上に留めてある放置自転車について、特に多摩都市モノレール砂川七番駅の放置状況が深刻である。たとえ自転車の「放置禁止区域」と指定されているところ以外での放置であっても、速やかに撤去できるように条例を改正すべき
- ◆主張 東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、障がい者スポーツの普及が図られてくる。普及の要となる障がい者スポーツの指導者育成については、現在も取り組まれているところだが、尚一層の尽力をすべき



★子ども達のニューカレドニア交流支援の後押しを

- ◆主張 「立川ニューカレドニア交流支援ネットワーク」など多くの方々が、永年に渡って尽力されてきた、ニューカレドニア・ボドウ中学校と立川の子供たちとの交換留学交流事業について、学校教育課程にきちんと位置付けるべき

上記の私の質問に対し、市は概ね、調査・研究、対応を進めるとの答弁をしました。今後も上記質問が確実に実施されていくよう努めて参ります。特に、点字ブロック上の放置自転車対策について、早期の実施が図られるよう主張して参ります。

平成29年度の予算要望書を提出！

過日、公明党立川市議団は、清水市長に平成29年度の市の予算編成に対する要望書を提出しました。

【要望した内容】

- ★産前産後、生活支援も含めた途切れすき間のないワンストップ相談窓口の開設
 - ★保育園・学童保育の待機児対策
 - ★小・中学校トイレの衛生環境の改善
 - ★認知症訪問支援と家庭支援の実施
 - ★空き家対策条例の策定
 - ★台風・豪雨等の風水害対策を強力に推進
- など59項目の予算要望を提出しました。



『多文化共生都市宣言』を行いました！

このほど立川市は、『多文化共生都市宣言』を12月19日（月）に行いました。これは、平成26年8月に立川市議会に陳情が出されていたものです。これからも、誰もが平和で仲良く暮らせる社会の実現を目指してまいります。

立川市多文化共生都市宣言

わたしたちは、国籍や民族や文化のちがいを互いに尊重し、共生する地域社会の実現を目指して、ここに立川市を「多文化共生都市」とすることを宣言します。

1. 思いやりの心を持って、互いの文化を理解し尊重します。
1. 国際的な視野を持ち、みんなで、協力して、多文化共生のまちをつくります。
1. とともに地域社会の一員として、笑顔で交流します。
1. やさしい気持ちで人や文化を受け入れ、多文化共生の輪をひろげます。

2016（平成28）年12月19日 立川市

国会図書館「デジタル化資料送信サービス」をご利用ください！



国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版などの理由で入手が困難な資料を、国会図書館の承認を受けた公共図書館等の館内で閲覧や複写ができる、「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用が、1月4日から開始されました。インターネット公開されていない約142万点の閲覧および複写が可能です。中央図書館3階レファレンス室設置端末で利用できます。

※白黒複写は片面1枚10円です。

全小・中学校でタブレットPC導入 授業にICT活用

立川市は現在、市内の全市立小・中学校にタブレットパソコン（PC）を導入し、ICT（情報通信技術）を活用した授業を実施しています。授業の際、児童・生徒が1人1台使用できるよう各校に40台以上、小学校に合計1,390台、中学校に565台のタブレットPCを配備しました。

タブレットを使った市内小学校の授業の様子を視察した模様を公明新聞に掲載していただきました（右記事）。



「少なめ注文」でごみ減量にご協力を、「食べきり協力店」事業を開始しました！



飲食店、宿泊施設等から排出される食品ロス（本来食べられるにもかかわらず廃棄されている食品）の削減を推進するため、食べ残し等の削減に取り組む飲食店等を「立川市食べきり協力店」として登録するとともに、その取り組みを広く紹介していきます。

協力店では、小盛りメニュー等の導入、持ち帰り希望者への対応、食べ残しを減らすための呼び掛け、ポスターの掲示、特典の付与（クーポンやポイントアップ等）等の内1つ以上が行われます。

公明党は国でも、食品ロス削減に向けた取り組みを強化しています。本事業は、党立川市議団で推進してきたものが実現したものです。

身近な法律相談を実施しています

《公明党無料法律相談》
 ・毎週水曜日（第5週を除く）14時から
 ・立川市錦町 1-4-4 立川サニハイツ 301
 ＊予約制です。詳細は高口やすひこまで



「高口やすひこ」まで何でもお気軽にご相談下さい！
 ◆市議会議員 厚生産業委員会委員長
 高口やすひこ励ます会 発行